

請

適



実用新案登録願

昭和53年3月29日

昭和53年3月29日

特許庁長官 殿

1. 考案の名称 ^{フリガナ} 連続操作に不着脱するフタの接合

2. 考案者

^{フリガナ} 住所 (居所) 兵庫県赤穂市元塩町12-15

^{フリガナ} 氏名 中村 秀雄

3. 実用新案登録出願人

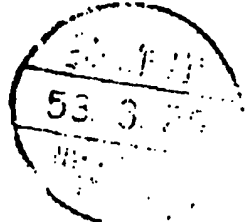
郵便番号 678-02

^{フリガナ} 住所 (居所) 兵庫県赤穂市元塩町12-15

^{フリガナ} 氏名 (法人にあっては名称) 中村 秀雄

4. 添付書類の目録

- | | |
|---------------|-----|
| (1) 明細書 | 1 通 |
| (2) 図面 | 1 通 |
| (3) 願書副本 | 1 通 |
| (4) (出願審査請求書) | 1 通 |



方式審査 (員)

53 039737
54-142770

BEST AVAILABLE COPY

000-039-A

明 細 書

1) 考案の名称

遠隔操作にて着脱するワンタッチ持ち

2) 実用新案登録請求の範囲

球形持ち本体(1)の外周と外筒上部(3)及び外筒下部(4)の内面を利用し、リング形のシリンドラを形成し、内部に加圧させ、外筒上部(3)及び外筒下部(4)を移動させる事にて着脱する持ち

3) 考案の詳細な説明

この考案は遠隔操作にて着脱するワンタッチ持ちに関するものである。

従来のワンタッチ持ちは遠隔操作にて着脱が出来なかったし、大口径の品物は非常に操作が困難であり、ワンタッチ持ちが採用されなかった。

また外筒に他の品物が当り、非常に外れ不便であり、高所の持ちとしては大変危険であった。この考案は簡単な構造にて上記の欠点を除去することを目的とする。

(1)

54-142770

この考案を図面にもとづいて説明すると、
 雌形接手本体(1)に、雄形接手本体⁽²⁾を挿入し、^{3字記入}
 鋼球(5)が両方に嵌入するように円周方向
 に数箇所配置され、外筒下部が移動する
 事にて鋼球(5)を固定または自由にし、雌
 形接手本体(1)と雄形接手本体(2)を着脱させ
 るようになっている。(ここまでは従来のワンタッチ
 接手の構造である。)

外筒上部(3)は、捻子部(6)にて外筒下部(4)と
 一体になっています。

雌形接手本体(1)の外周と外筒上部(3)及び
 外筒下部(4)の内面を利用し、リング形の嵌入用
 シリンダー(14)と離脱用シリンダー(13)を、Oリング
 パッキン(7)(8)(10)と(9)とで形成し、各シ
 リンダーには嵌入用加圧回路(12)と離脱用
 加圧回路(11)が導かれている。

いま、離脱用加圧回路(11)に加圧すれば
 離脱用シリンダー(13)に加圧され、外筒上部
 (3)及び外筒下部(4)は嵌入用シリンダー(14)
 を圧縮し、ストローク一杯まで移動し、空所(15)

が、金剛球(5)の位置に来るので金剛球(5)は自由になり、雄形持ち本体(2)は、雌形持ち本体(1)より離脱する。

また、嵌入用加圧回路(12)に加圧すれば嵌入用シリンダー(14)に加圧され外筒上部(3)及び外筒下部(4)は、離脱用シリンダー(13)を圧縮しストローク一杯まで移動し金剛球(5)を空所(15)より内部へ押出し雌形持ち本体(1)と雄形持ち本体(2)を固定する。

3号記入

この考案は以上のように従来のフック持ちを簡単に改造する事にて遠隔操作にて着脱を円滑かつ確実に進行することが出来る。他の品物が接触し外筒上部(3)及び外筒下部(4)を動かそうとする力が働いてゐる。嵌入用シリンダー(14)、離脱用シリンダー(13)の反圧が働かき、これを防ぐ。また加圧にて外筒上部(3)及び外筒下部(4)を動作させるので今日までフック持ちが採用されなかった大口径持ちに有利である。

機側にて操作するには、ハンドホフ等を利用すれば十分作動させられる。

4) 図面の簡単な説明

第1図はワンタッチ接手の縦断面図。

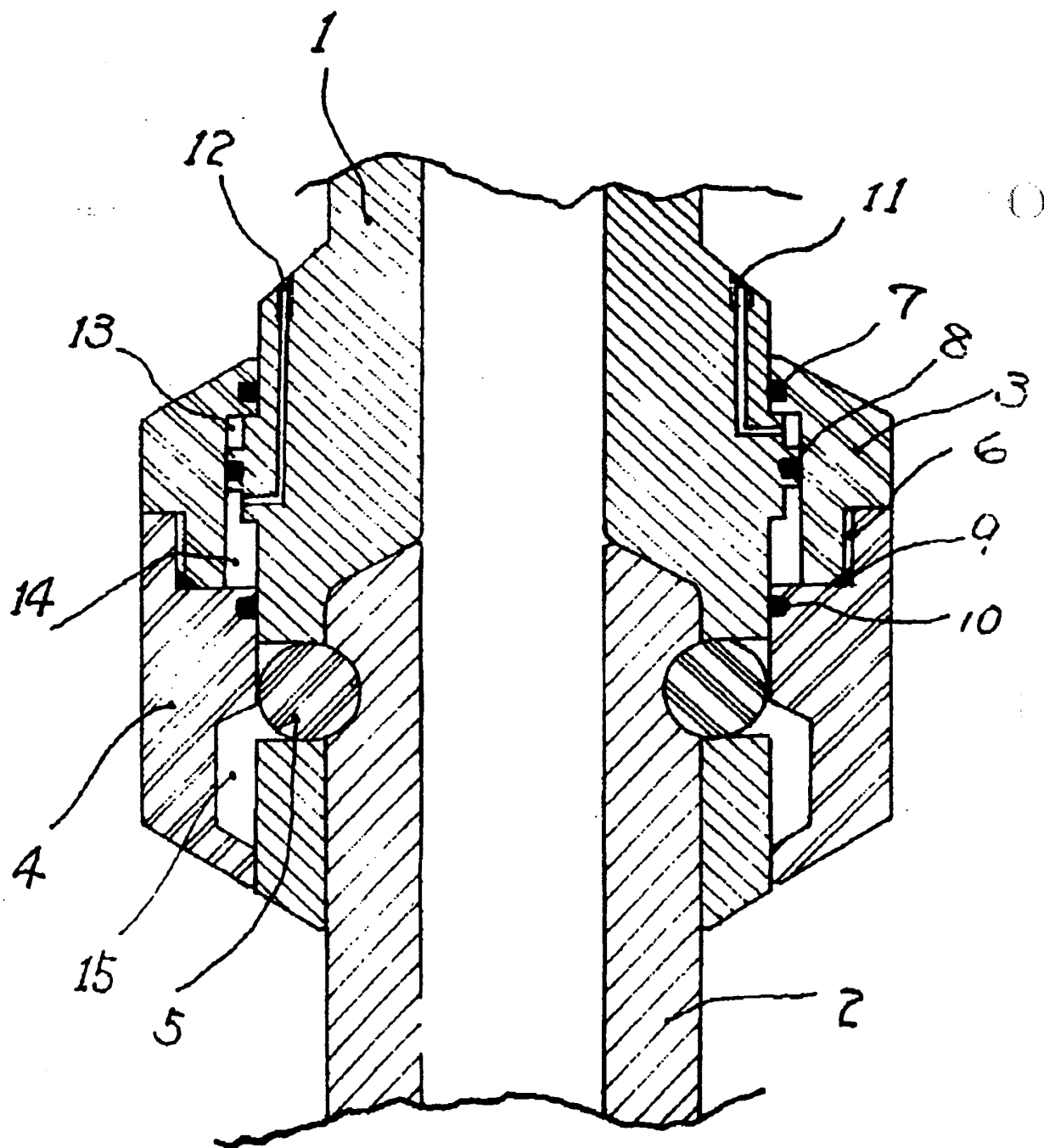
- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 雌形接手本体 | 11. 離脱用加圧回路 |
| 2. 雄形接手本体 | 12. 吸入用加圧回路 |
| 3. 外筒上部 | 13. 離脱用シリンダー |
| 4. 外筒下部 | 14. 吸入用シリンダー |
| 5. 鋼球 | 15. 空所 |
| 6. 検子部 | |
| 7. オリングパッキン | |
| 8. — “ — | |
| 9. — “ — | |
| 10. — “ — | |

実用新案登録出願人

中村 尚雄

(4)

第1圖



實用新案發明人
中村 喬雄

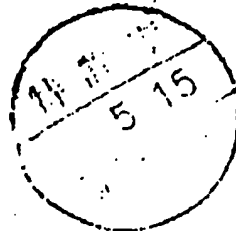
手続補正書(方式)

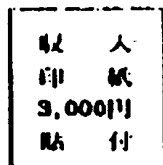
昭和53年5月12日出
昭和53年5月11日

特許庁長官
(特許庁審査官)

殿
殿)

1. 事件の表示 昭和53年実用新案登録願第039737号
2. 考案の名称 遠隔操作にて着脱するワンタッチ接手
3. 事件との関係 実用新案登録出願人
住所(居所) 兵庫県赤穂市元塩町12-15
氏名 中村秀雄 (印)
4. 代理人
住所(居所)
氏名 (印)
5. 補正命令の日付
6. 補正の対象
7. 補正の内容 願書 出願審査請求書 明細書の清書
(内容に変更なし)





実用新案登録願

(円)

昭和 53 年 3 月 29 日

特許庁長官

殿

1. 考案の名称 遠隔操作にて着脱するワンタッチ接手

2. 考案者

フリガナ 住 所 (居所) 兵庫県赤穂市元塩町 1 2 - 1 5

フリガナ 氏 名 中 村 秀 雄

3. 実用新案登録出願人

郵便番号 678-02

フリガナ 住 所 (居所) 兵庫県赤穂市元塩町 1 2 - 1 5

フリガナ (法人においては名称) 氏 名 (及び代表者の氏名) 中 村 秀 雄

4. 添付書類の目録

- | | | |
|-----|----------|------|
| (1) | 明細書 | 1 通 |
| (2) | 図面 | 1 通 |
| (3) | 願書副本 | 1 通 |
| (4) | (出願審査請求書 | 1 通) |

明 細 書

1) 考案の名称

遠隔操作にて着脱するワンタッチ接手

2) 実用新案登録請求の範囲

離形接手本体(1)の外周と外筒上部(3)及び外筒下部(4)の内面を利用し、リング形のシリンダーを形成し、内部に加圧させ、外筒上部(3)及び外筒下部(4)を移動させる事にて着脱する接手

3) 考案の詳細な説明

この考案は遠隔操作にて着脱するワンタッチ接手に関するものである。

従来のワンタッチ接手は遠隔操作にて着脱が出来なかったし、大口徑の品物は非常に操作が困難であり、ワンタッチ接手が採用されなかった。

また外筒に他の品物が当たっても簡単に外れ不便であり高所の接手としては大変危険であった

この考案は簡単な構造にて上記の欠点を除去することを目的とする。

この考案を図面にもとづいて説明すると、
雌形接手本体(1)に、雄形接手本体(2)を挿入し、
鋼球(5)が両方に嵌入するように円周方向に数カ
所配置され外筒下部が移動する事にて鋼球(5)を
固定または自由にし、雌形接手本体(1)と雄形接
手本体(2)を着脱させるようになっている。(こ
こまでは、従来のワンタッチ接手の構造である)
外筒上部(3)は螺母部(6)にて外筒下部(4)と一体に
なっています。

雌形接手本体(1)の外周と外筒上部(3)及び外筒
下部(4)の内面を利用し、リング形の嵌入用シリ
ンダー(14)と離脱用シリンダー(13)を“O”リ
ングパッキン材(7)(8)(10)と(9)とで形成し、各
シリンダーには嵌入用加圧回路(12)と離脱用
加圧回路(11)が導かれている。

いま、離脱用シリンダー(13)に加圧され外
筒上部(3)及び外筒下部(4)は嵌入用シリンダー
(14)を圧縮しストローク一杯まで移動し、空
所(15)が、鋼球(5)の位置に来るので鋼球(5)は
自由になり、雄形接手本体(2)は、雌形接手本体

(1)より離脱する。

また、嵌人用加圧回路(12)に加圧すれば嵌人用シリンダー(14)に加圧され外筒上部(3)及び外筒下部(4)は離脱用シリンダー(13)を圧縮しストローク一杯まで移動し鋼球(5)を空所(15)より内部へ押出し雌形接手本体(1)と雄形接手本体(2)を固定する。

この考案は以上のように従来のワンタッチ接手を簡単に改造する事にて遠隔操作にて着脱を円滑かつ確実に行なうことが出来るし、他の品物が接触し外筒上部(3)及び外筒下部(4)を動かそうとする力が働いても、嵌人用シリンダー(14)離脱用シリンダー(13)の反圧が働き、これを防ぐ。また加圧にて外筒上部(3)及び外筒下部(4)を動作さすので今日までワンタッチ接手が採用されなかった大口径接手に有利である。

機側にて操作するには、ハンドポンプ等を利用すれば十分作動させられる。

4) 図面の簡単な説明

第1図はワンタッチ接手の縦断面図

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 雌形接手本体 | 11. 離脱用加圧回路 |
| 2. 雄形接手本体 | 12. 嵌入用加圧回路 |
| 3. 外筒上部 | 13. 離脱用シリンダー |
| 4. 外筒下部 | 14. 嵌入用シリンダー |
| 5. 鋼球 | 15. 空所 |
| 6. 栓子部 | |
| 7. "C"リングパッキン材 | |
| 8. — " — | |
| 9. — " — | |
| 10. — " — | |

実用新案登録出願人

中 村 秀 雄